

岩手県職労

月2回刊=1409号
 2014年3月30日 発行
 発行日 毎月15日30日
 発行所
 盛岡市内丸10番1号
 岩手県庁内
 岩手県職員労働組合
 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4
 有限会社 ジョー印刷企画
 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

2014人勸

賃金労働条件の維持・改善を！

「総合的見直し」人事院への積極的意見反映を求める

自治労本部・熊谷県人事委員長あてに要求書提出

自治労岩手県本部(齋藤 健市委員長・北上市職労)は3月17日、熊谷隆司人事委員長あての「2014給与報告にかかる要求書」を提出した。要求書の提出にあたって



佐藤人事委員会事務局長に「2014人勸」にかかる要求書を提出し、見解を求める県本部齋藤委員長他三役



要求書を手渡す齋藤県本部委員長(右)



人事委員会も不本意としていた「給与減額」が終了するが、今度は勧告で引き下げか！と厳しく迫る平中県職労委員長(中央)



中央執行委員
長門三喜男
(商工労働観光部)
(雇用対策・労働室分会)



副中央執行委員長
及川隆浩
(沿岸広域振興局)
(宮古地域振興センター分会)



会計監事
平澤清峰
(県教委事務局)



中央執行委員
小島孝二
(総務部税務課分会)

今年度で退任される役員のご紹介

組合員の生活と権利向上に向けてご尽力いただいた4名の役員の方が退任します。
 4月からは「支部・分会の活動で県職労運動を支える」と力強い言葉をいただきました。
 ご苦勞様でした。
 (敬称略)

積極的に意見反映を行うことを求める」とし、現時点での人事委員会の見解を質した。

これに対し佐藤事務局長は、「給与制度の総合的見直しについては、詳細が明らかになっておらず、人事委員会としても良く理解していない状況。給与構造改革の経過措置が終わらない中で新たな見直しにより制度が複雑化するのはいかかなものかと考えるが、今後人事院の動向を注視し、他県の動きなど情報収集しながら検討する」とし、「適正な賃金水準を確保するよう、公正・中立な第三者機関として適正に対応していく」と回答した。

医療費の自己負担を
しっかりカバー

団体生命共済が
ますます充実

[不慮の事故/病気の場合]
入院保障は
1日以上1日目
からお支払い

じちろうの団体生命共済
自治労共済本部
●詳しくは所属する組合まで

自治労第2回 拡大闘争委 スト批准の成立を確認

2月12日～19日に、全単組で実施したストライキ批准投票は、賛成 73.72%で批准された。この批准投票は、「年間を通して一波につき2時間を上限としたストライキを含む闘争体制」を確立するもの。自治労本部は2月27日に開催した第2回拡大闘争委員会でこの結果を確認し、闘争指令権を中央闘争委員長に委譲することを決定した。

これにより、年間を通じた闘争指令権が確立した。

実施単組数	2,401	組合員数	764,837人
投票総数	612,088	投票率	80.03%
賛成票	563,860	賛成率	92.12%
批准率	73.72%		
反対票	30,829	白票	13,526
		無効	3,873



宮古市 北村 進 さんを推薦

宮古市 議会選挙

4月13日告示、20日投票

宮古市在住者の紹介行動にご協力を。

北村さんは、これまで宮古市議会において、震災からの復旧・復興にむけて日々活動してきた。「北村すすむ」さんの必勝にむけて、

知人・友人の紹介を

4月13日告示、20日投票の日程で宮古市議会議員選挙が行われる。

県職労は、宮古地方労働候補二人のうち、「北村すすむ」さんの推薦を決定している。

北村さんは、これまで宮古市議会において、震災からの復旧・復興にむけて日々活動してきた。「北村すすむ」さんの必勝にむけて、

第五世代

40年前の1974年、日本国内は賃上げ、社会福祉の向上を訴え、多くの国民が立ち上がった。国民春闘である▼石油危機による物価上昇も相まって、当時の賃金では労働者は食えることが困難であった。大幅賃上げ獲得、福祉充実を求め闘った74春闘では30%を超える賃上げと年金拡充を勝ち取った。ストライキにより交通機関等もストップしたが、当時の春闘は福祉政策の充実の訴えに多くの国民(労働者)の支持を得た▼14春闘は10数年振りにベースアップの回答が相次いだ。政府の要請があったからか、民意の賃上げの声に反応してか、賃上げした企業の真意は不明だ。賃上げ率が物価上昇率を下回っている事実は企業利益を確保した上で、のべである。物を語る▼その後改悪された年金だけでは生活できない国民が増えているなか、未だに見直しが見えない。年金保険料などの負担増が見え隠れする中で国民が意見を言えないことも事実だ▼国民春闘、働くものの権利拡充を訴えた先輩方が退職される。安心して働き、生活し続けられる社会を求めた先輩の運動を継承することが私たち働くものの使命だ。

長い間ご苦勞さまでした

この3月、今年も多くの先輩、仲間の皆さんが職場を去られます。長い年月、県勢発展のため第一線で働いてこられた先輩の皆さん。県職労の権利拡大や組織強化のため支部や分会、いろいろな場面で運動を支えていただきました。心から感謝を申し上げます。組合員、準組合員の皆さんのお名前を掲載させていただきます。(順不同敬称略)

- ▼県庁支部
 - 山本 孝(管 財 課)
 - 向井 留美(総務事務センター)
 - 福澤 淳一(商工労働観光部付・観光協会)
 - 澤村 正廣(建築住宅課)
 - 佐藤 義昭(人事委員会事務局)
- ▼盛岡支部
 - 吉田 徹(盛岡広域振興局経営企画部)
 - 松本 陽子(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
 - 三浦 賢一(盛岡広域振興局土木部)
 - 高橋 茂之(盛岡広域振興局土木部)
 - 伊勢崎秋孝(綱取ダム管理事務所)
 - 福浦 憲昭(築川ダム建設事務所)
 - 今野 政和(岩手土木センター)
 - 小野 幸雄(岩手土木センター)
 - 阿部 義行(岩手土木センター)
 - 藤田 義範(県立杜陵学園)
 - 亀田トモエ(県立産業技術短期大学校)
 - 石井 宣利(林業技術センター)
 - 浅沼 一也(八幡平農業改良普及センター)
 - 菊池 とも(医療政策室付・いわてリハビリテーションセンター)
 - 小山 康文(工業技術センター)
- ▼花巻支部
 - 佐々木年男(花巻県税センター)
 - 光井 広子(花巻保健福祉環境センター)
 - 菊池 忠次(遠野農林振興センター)
 - 野村 貞雄(花巻土木センター)
 - 菅原 康弘(花巻土木センター)
 - 林 和也(花巻土木センター)
 - 遠藤 公(遠野土木センター)

- ▼北上支部
 - 佐藤 忠(北上農村整備センター)
 - 佐藤 昭(北上農村整備センター)
 - 島津 雅洋(北上土木センター)
 - 中村 喜彦(北上土木センター)
 - 佐藤 晴美(北上土木センター)
 - 築地 邦晃(農業研究センター)
 - 上野 一也(県立農業大学校)
 - 佐藤 守(中央農業改良普及センター)
- ▼胆江支部
 - 奥寺 高秋(県南広域振興局保健福祉環境部)
 - 砂子田 哲(県南広域振興局農政部)
 - 長内 和則(県南広域振興局農村整備室)
 - 佐々木きし子(奥州農業改良普及センター)
 - 鈴木 敏男(奥州農業改良普及センター)
- ▼一関支部
 - 萬徳 和彦(一関農林振興センター)
 - 佐藤 利憲(一関農村整備センター)
 - 佐藤 幸喜(一関土木センター)
 - 千葉 浩生(一関土木センター)
 - 伊藤 清光(千厩土木センター)
 - 斎藤 修(千厩土木センター)
 - 平賀 友章(一関児童相談所)
 - 小坂恵津子(県立一関高等看護学院)
- ▼気仙支部
 - 及川しげ子(大船渡農業改良普及センター)
- ▼釜石支部
 - 渡部 茂雄(沿岸広域振興局水産部)
 - 佐藤 道郎(沿岸広域振興局土木部)
 - 天下谷昭文(漁業取締事務所)
 - 川向 勝己(漁業取締事務所)
 - 井ノ口伸幸(水産技術センター)
 - 港 繁樹(水産技術センター)
- ▼宮古支部
 - 菊池 憲夫(宮古保健福祉環境センター)
 - 芳賀由美子(宮古保健福祉環境センター)
 - 富岡 盛雄(宮古土木センター)
 - 三浦 悟(岩泉土木センター)
 - 大井 祥子(宮古農業改良普及センター)
- ▼久慈支部
 - 笹原 敬悦(県北広域振興局土木部)
 - 中村 清巳(県北広域振興局土木部)



白木正範さん
(久慈農業改良普及センター分会)

今後の県職労運動の発展に期待

組合員の皆さん、定年に退くことになりました。これまで多くの組合員に支えられて組合員期間の大半を役員として活動させていただいたことに感謝申し上げます。

入庁時代と比べて公所数も職員数も減少して県の組織はスリムになり、県職労の支部の統廃合も進みスリムになりましたが、組合の理念や活動をスリムにさせてはいけないと思っています。

われわれの運動の基本は組織にあるので、これからも仲間意識を高め、成果を上げるためにも組織をしっかりとしたものにし、自治労に結集する多くの仲間と共に権利獲得、賃金改善等、諸課題の解決に向けた

- 白木 正範(久慈農業改良普及センター)
- ▼二戸支部
 - 徳山 順一(県北広域振興局)
 - 佐々木譲治(二戸地域振興センター)
 - 及川 里巳(二戸地域振興センター)
 - 三浦 哲儀(二戸農林振興センター)
 - 藤原 正信(二戸農林振興センター)
 - 奥寺三枝子(県立二戸高等看護学院)
 - 菊池 利行(県北農業研究所)
 - 田中 裕一(二戸農業改良普及センター)
- ▼本 部
 - 高橋 盛吉(企業局施設総合管理所)
 - 千葉 高司(企業局南施設管理課)
 - 藤澤五百子(警察本部厚生課)
 - 相川久美子(県立二戸病院)
 - 川名美智子(県立磐井病院)
 - 高橋 正好(県立軽米病院)
 - 宮野 圭史(県立大迫高等学校)
 - 菊池 健一(県立前沢明峰支援学校)
 - 千葉 一政(県立総合教育センター)

庭田書記(盛岡支部)が定年退職

後任には中軽米書記を配置



庭田節子書記

「書記」の立場から県職労運動を支えてきた盛岡支部の庭田書記が、3月31日をもって定年退職します。庭田書記は「入局以来、多くの組合員の皆さん、書記の仲間を支えられながら健康で働き続けられたことが一番」と40余年の書記生活振り返っていました。長い間、本当にご苦勞様でした。

盛岡支部は4月から、中軽米悦美書記が担当します。

名 前	現在勤務	2014/4/1からの勤務
中軽米 悦美	県庁支部勤務	盛岡支部勤務
中野 明子	本部勤務 (県庁支部兼務)	本部勤務 ※ 兼務解消
小野寺 久美子	本部勤務 (盛岡支部兼務)	県庁支部勤務 ※ 兼務解消

県職労書記局人事異動

県職労は、4月1日付で書記局の人事異動を行います。異動内容は別表のとおりとなります。組合員の皆さんのご協力をお願いします。

保障のことなら
まず
組合へ

県職労では独自の共済制度として「総合共済」制度を設けており、火災や自然災害等、住宅の損害に対する給付制度があります。

人事異動等で住所が変更になった場合は必ず「変更届」の提出が必要です。変更されていない場合「給付対象外」となることがありますので、住所が変わったら「変更届」の提出をお願いします。詳しくは、所属の支部書記局まで。

●詳しくはパンフレットをお読みの上、所属する組合までお問い合わせ・お申し込みください

総合(慶弔)共済基本型・追加型/団体生命共済/じちろうマイカー共済/火災共済・自然災害共済/長期共済・税制適格年金/親子共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合